



令和4年3月16日
横浜市経済局産業連携推進課
(公財)木原記念横浜生命科学振興財団



最大助成率
10/10

中小企業向け助成額 200 万円に引き上げ 令和4年度 LIP.横浜トライアル助成金の申請を募集します

このたび、健康・医療分野において、新製品や新技術の事業化を目指す市内中小企業、大学、研究機関等を対象として、研究成果やアイデア等を具体化する試作品の開発などに活用できる、「LIP.横浜トライアル助成金」の申請を募集します。

令和4年度は、デジタルヘルス、がん領域に関するテーマを加点評価し、これらの研究開発を重点的に支援します。

令和4年度 LIP.横浜トライアル助成金の概要

〈対象者〉

横浜市内に立地する中小企業、大学、研究機関、病院等 ※詳細は募集要領でご確認ください。

〈対象事業〉

健康・医療分野の基礎研究成果や臨床ニーズ等の実用化につながる取組のうち、次のいずれかの事業

- ・研究成果やアイデア等を具体化する部品・製品・ソフトウェアの開発や試作品の開発
- ・新規の研究アイデアに基づく予備試験又は仮説検証に必要となるデータ等の取得

〈助成率〉 対象経費の 10/10 以内

〈助成限度額〉

中小企業	1 申請あたり <u>200 万円</u>
大学、研究機関、病院	1 申請あたり <u>100 万円</u>

〈募集期間・助成対象期間〉

募集期間	助成対象期間
令和4年4月1日（金）～5月13日（金）	交付決定日から令和5年2月28日（火）まで

〈運営主体〉 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団
※本事業は、横浜市経済局の補助金を受けて運営しています。

〈募集要領〉 募集要領は、以下のホームページで公開いたします。

▽LIP.YOKOHAMA BIBLIO <https://biblio.yokohama>

※交付決定は6月中旬を予定しています。

※採択の結果、助成金予算総額を満たさなかった場合は、第二次採択を行うことがあります。

※本事業は、令和4年度の予算が横浜市会において議決されることを停止条件とします。予算の議決がなされないときは事業を実施いたしません。

裏面あり

「LIP.YOKOHAMA BIBLIO セミナー」(オンライン開催)において、トライアル助成金についてのご案内も併せて行いますので、当助成金にチャレンジしたい方は是非、ご参加ください。

参加費無料

<LIP.YOKOHAMA BIBLIO セミナーの概要>

トライアル助成金事業採択者による成果報告を行います。トライアル助成金事業の成果報告では、連携先を探して事業化を目指していくものからすでに事業化しているものまで、今後役立つ10テーマを報告します。大学や病院の研究シーズを探索している方、健康・医療分野でユニークな技術をもつスタートアップを探索されている方のご参加をお待ちしております。

また、令和4年度に実施予定のトライアル助成金についてのご案内も併せて行いますので、当助成金にチャレンジしたい方も、ぜひご参加ください。

◆日時：令和4年3月24日(木)13:00~17:00(予定)

◆プログラム：13:00 開会、LIP.横浜トライアル助成金のご案内

13:20 セミナー「QFDを活用した断トツ製品創り」 株式会社IDEA 笠井護氏

14:30 トライアル助成金事業成果報告

◆トライアル助成金事業成果報告 登壇者：(順不同)

【企業】株式会社セルフサイエンス、ダンシングファン株式会社、バイोजェニック株式会社
ピンポイントフォトニクス株式会社、リスク計測テクノロジーズ株式会社

【大学】神奈川県立こども医療センター 成戸卓也先生、慶應義塾大学 岡浩太郎先生
慶應義塾大学 松原輝彦先生、横浜市立大学附属市民総合医療センター 鍵本慎太郎先生
横浜市立大学大学院 大関泰裕先生

◆お申込方法：下記フォームからお申込ください。

<https://lip-trial.peatix.com/view>



トライアル助成活用事例紹介

「イカ足サポーター」

ダンシングファン株式会社(青葉区)

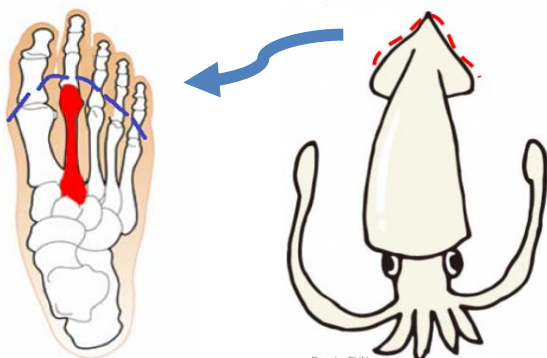
ダンシングファン株式会社は、足の甲の骨(中足骨)の短い部分に入れるイカ足サポーターを開発しました。

サポーターを入れ、中足骨の長さが揃うことで、より広い面積で体重を支え、地面を捉えることが可能になります。

また、重心移動、バランス、踏み込みが強化されるため、スポーツにおいても有効的です。



安定した足裏に！



イカ足とは…

第二中足骨が第一中足骨よりも長い足のことです。



イノベーション都市・横浜

横浜市は、平成31年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー（YOXO）」を旗印として、みなとみらい21地区の研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。また、「I・TOP横浜」と「LIP横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進します。



お問合せ先

(LIP横浜に関すること)	経済局産業連携推進課長	近藤 陽介	TEL : 045-671-2574
(助成事業に関すること)	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局長	岩船 広	TEL : 045-502-4810

※本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。